

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第7回諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的審議事項（公開）

○ 二貫寺の森の活用について

1) 意見書の回答について

2) 今後の審議について

(2) 協議事項（公開）

○ 地域活性化の方向性について

3 開催日時

令和5年1月26日（木） 午後7時から午後8時25分まで

4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：川上奈津子、川上 久雄（会長）、西嶋 明子、服部幸雄、堀川 悦郎、
山岸 愛、山田 哲平（副会長）（欠席5人）
- ・ 市役所：農林水産整備課 宮崎副課長、伊藤主事
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【藤井係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

- ・ 諏訪小学校児童による二貫寺の森の顔出し看板等作成について情報提供
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【川上会長】

- ・ 会議録の確認：川上 奈津子委員に依頼
次第 2 議題「(1) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」に入る。
最初に「1) 意見書の回答について」、農林水産整備課より説明を求める。

【農林水産整備課 宮崎副課長】

- ・ 挨拶
- ・ 資料 1、別紙に基づき説明

【川上会長】

今ほどの説明について質疑を求める。

【堀川委員】

二貫寺の森の整備に関する昨年度の予算はどれくらいか。

【農林水産整備課 宮崎副課長】

主にイベント関係の予算を盛っている。

【農林水産整備課 伊藤主事】

予算の項目としては、市主催イベントに係る謝金や、草刈りに係る費用。あとは管理棟の運営業務を「二貫寺の森保全会」に依頼しているため管理を委託するもの。あとはウッドチップ敷きを委託するものである。

委託料のみ、簡単に金額を申し上げると、「二貫寺の森保全会」に毎週日曜日に依頼している管理棟の運営業務については、大体 20 万円ほどの予算となっている。

次に、草刈り業務についても 20 万円ほどであり、「NPO 法人くびき里山学校」に依頼している。

最後に「くびき野森林組合」に二貫寺の森の園路のウッドチップ敷きを依頼しており、こちらは大体 80 万円程度となっている。

【川上会長】

他に質問等あるか。

(発言なし)

自分より質問である。

意見書の回答で、今年度取り組むものと新年度に取り組むものがあったが、入口看板は3月までの今年度の予算の対応か。

【農林水産整備課 宮崎副課長】

分かりやすく言うと、看板は3月までに新しく作るというか、今まではっきりとしない表示だったのだが、その辺を修繕したいと思っている。

また、園路の修繕については、来年度の予算で行いたいと考えている。

【川上会長】

他に質問等あるか。

以上で次第2議題「(1) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」の「1) 意見書の回答について」を終了する。

次に次第2議題「(1) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」の「2) 今後の審議について」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

・説明

【川上会長】

本日は出席者が少ないが、意見書の回答についてどう思われたのか、各委員より感想をお聞きしたい。川上 奈津子委員より順番に発言を求める。

【川上 奈津子委員】

意見書というものを、初めて出したわけである。

先ほどの説明の中で、「回答が遅くなり申し訳ありません」とあったが、全然、遅くないと思う。

むしろ、対応が迅速であり、出してみるものだと思った。思ったことがこのように現実になることに、ちょっと驚いた。ありがとうございました。

【西嶋委員】

自分も、要望というか、お願いしたいところを、農林水産整備課の職員に対応していただくということが、非常にありがたいと思った。

園路、特にぬかるみの件だが、長靴でなくても歩けるような道にして欲しいと

本当に思っている。

次に、入口看板についてだが、ペンキが剥げ、文字もよく分からなくなっているところを、もっとはっきりと見やすくなるとよいと思っている。色等はどんな色がよいのか分からない。

こういったことも考えていただきたいと思っている。

【服部委員】

市の対応としては、十分に対応していただいていると感じている。

ただ、確認である。

二貫寺の森には関連団体がいくつかあると思うのだが、そういった団体からはこのような意見や要望等が出ていなかったのか。

【農林水産整備課 伊藤主事】

自分は1年間担当してきたが、基本的には改善点は特に聞いていない。

他の協議会の方に会った時に聞くことはあった。あとは、イベントの参加者より「ぬかるみがひどい」という声が、今年度のイベントを実施した際に聞いた。

【堀川委員】

自分も二貫寺の森には何度か行ったのだが、1番気になっていた園路のぬかるみについては、やはり、採石の敷き均しをしてもらうことができればよいと思う。

あとは看板付近の支障木についても、意見書の回答に、「伐採等の対応を予定」と記載されているため、ぜひお願いしたいと思う。

少しずつ整備していきながら、「公園化については、現在のところ考えはない」とあるのだが、公園かどうかは分からないが、実現できればよいと思っている。

【山岸 愛委員】

意見書の回答を見て、確かに自分もしっかりと1つずつ返ってくるのだと、第一印象として思った。

失礼ながら、もう少し事務的な感じで、「できます」「できません」「これから考慮します」くらいの回答を想像していたため、諏訪区地域協議会の意見書に対して誠実に回答してくれたという印象を持った。そのため、今後、地域協議会の中で協議していく中で、自分たちもできることを探しながら、目標というか、

次のイメージを作っていくことができればよいと、少し前向きな気持ちになった。

【山田副会長】

他の委員の意見にもあったとおり、意見書の回答については、大変すばらしい
というか、こちらの思っていたことが回答いただけたと思い、大変に満足してい
る。

ただ今回、これが初めての意見書だったということであるため、地域協議会が
続いて、来年以降も今回のように意見書を提出できるのであれば、よりよく、二
貫寺の森が変わっていくのではないかと感じた。

【川上会長】

概ね、地域協議会委員の意見が通ったと思う。

園路のぬかるみから、入口看板の整備も考えていただけるということである。
小学校の子どもたちが一生懸命に園路の案内看板等を作成したため、これからも
また楽しみである。

意見書は初めてであったが、こういったかたちでまとめることができた。そし
て市からちゃんとした回答を得ることもでき、ほぼ認めていただけたため喜んで
いる。

予算要求できるのであれば 1 番よいとは思いますが、地域協議会としては予算要求
することができないため、今後も意見書としてまとめるか、または他の団体と協
力をして予算要求するかたちに持っていくことができればよいと思っている。

本当によい回答をいただけたと思っている。ありがとうございました。

では今後の審議について、検討したいと思う。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・資料 2 に基づき説明

【川上会長】

今ほどの説明について質疑を求める。

(発言なし)

2 グループに分かれてグループワークを行う予定としていたのだが、本日は欠席
者が多く 2 グループに分かれなくてもよい気がする。

どうするか。2 グループに分けると、3 人と 4 人になってしまうため、全員で

行ってはどうか。

【山岸 愛委員】

本日は天候も悪いため、早めに終わりたい。

【川上会長】

では全員でフリートークとしたいと思う。

司会進行はどうするか。

【山田副会長】

司会進行は自分が行う。

今ほど事務局より説明があったが、グループ分けは行わずに、このままのかたちで意見を求め、それを 1 つのまとめというかたちとしたい。悪天候ということもあり、できる限り早めに、委員より意見をいただきたいと思う。

意見については、挙手で発言を求めていると時間もかかるため、1 人ずつ発言を求めていきたい。

先ほどとは逆回りで、山岸 愛委員より順番に発言を求める。

【山岸 愛委員】

この場では何を話せばよいのか。

【川上会長】

意見書の回答を受けて、今後、諏訪区地域協議会として何をしていけばよいのかということである。

【山田副会長】

地域協議会委員の任期が残り 1 年ということで、今後、自分たちは何をするのか、ということである。

【山岸 愛委員】

入口看板や園路のぬかるみに関しては、様子を見つつではあるが、動いていただけるとのことであり、とても素敵なことである。

ただ、それができるとした上で、要はイベント等、何かしら地元や地域協議会としてできることを考えていくということによいか。

【山田副会長】

あとは、資料 2 の修正案を見て、今後、実施できそうなものを考え、それをど

のように進めていくのかというところである。

【山岸 愛委員】

個人的には、そろそろアンケートを本当にとってみてはどうかと思っている。

地域協議会で話し合っていることの報告を兼ねつつ、現状と意見書を提出した結果を受けて、地区の住民がどう受けとめているか。または二貫寺の森に対するイメージのようなものを、1回聞いてみたい気持ちが強くなってきた。

そして、二貫寺の森に行ったことがない人がどれくらいいるのかということも、状況として知りたい。

その上で、例えば、実際に二貫寺の森を見学するような機会が必要であれば、そういったことができるようなスケジュールを組んでいき、関係団体との協議等につなげていくことができればよいのではないかと思っている。

これがイメージとして考える1番やるべき近道というか、進めたほうがよいことかと思う。

【山田副会長】

次に堀川委員より発言を求める。

【堀川委員】

まだ考えがよくまとまっていないのだが、昨年より、できるだけ多くの地域協議会委員に二貫寺の森を見てほしいと言っているのだが、まだ全員は現地を見ていない。そのため、まずはそういったことから行ったほうがよいと思っている。

今後、意見を言うためにも地域協議会委員で二貫寺の森を散策しながら、意見交換ができればよいと思う。

あとは、山岸 愛委員の発言にあった、関係団体との意見交換も必要だと思う。

また、整備をするにあたって、専門知識のある人たちの話も聞いてみたい。

【山田副会長】

次に服部委員より発言を求める。

【服部委員】

活用等の議題も大事だと思うのだが、基本的に取りかかったほうがよいことは環境整備だと自分は思っている。

二貫寺の森は広さが約28町歩であり、令和4年度の予算は約190万円という数

字が出ているのだが、果たしてそれで足りるのかと思っている。

環境整備をしなければ、イベント等の行事もできないと思っているため、一部分だけを綺麗にするのか、それとも半分くらいを綺麗にするのか。そういった方面もやはり検討されるべきだと思う。

また先ほど、関連団体からの要望等の有無について確認したところ、何も意見が出ていないということも、おかしいように自分は感じている。

そういった面も含めて、関連団体との意見交換会も重要だと思う。

地域協議会だけが先走って進むよりは、各団体との協議の中で一緒に進んでいったほうがよいと思っている。

【山田副会長】

次に西嶋委員より発言を求める。

【西嶋委員】

二貫寺の森の活用については、市だけが何かするのではなく、地域の人たちも一緒になって二貫寺の森を活用できる仕組みのようなものが何かしらできればよいと思っている。

また、二貫寺の森に生えている木々も、いる・いないということもあると思うのだが、子どもたちが遊べるスペースを皆で整備できるようになってよいのではないかと思った。

【山田副会長】

次に川上 奈津子委員より発言を求める。

【川上 奈津子委員】

2・3年かけてようやく意見書がまとめられ、このように現実になった。

今後できることといっても、地域協議会委員の任期も残り1年ほどしかないが、その中でまた何かをやりたいという気持ちも芽生えてきた。

まず必要なのは、やはり研修だと思う。同じような状況のところ、例えば、桑取区等のうまくいっているところを見てみたいという気持ちもある。

また、先ほど堀川委員の発言にあったように、確かに、地域協議会委員で二貫寺の森を見て回ることもよいと思う。それだけでも、何かヒントが出てくるような気もする。

短い間ではあるが、研修とアンケート、現地視察を行って、またこのような意見書を出せるのか、「地域独自の予算」は時間的に厳しいような気もするのだが、何かできればよいと思っている。

【山田副会長】

次に川上会長より発言を求める。

【川上会長】

西嶋委員が公民館事業でいろいろな活動を行っており、誘いを受けることもあって、二貫寺の森にはよく行っている。

あの立派な管理棟をもっと活用したいと思っている。また、管理棟前の広場も割と整備がされているため、使えると思う。

今まで、子どもが中心の活動ばかりであるため、極端な話、すこやかサロン等をたまに管理棟で行ってもよいような気がする。夏の蚊が出る時期は無理かもしれないが、それ以外でも使えるのではないかと思う。

もっと地域住民に周知するためにも、やはり地域住民に対する自然観察会のようなものをやらなければいけないと思う。地元でありながらも知らない人もいる。

そのようなかたちで、地域住民が参加できるようなことが、何かできればよいと思う。

本当は他の団体が中心となって行ってくれるとよいのだが、また西嶋委員にお願いして、公民館事業で行ってもらうことになってしまう気がする。

他の委員も現地に行って管理棟を見ていると思うが、立派な管理棟がある。水もあるため、簡単な炊事はできる。炭焼きもあるため、今回、諏訪小学校の子どもたちが看板を作った時に、地域の人が焼き芋を作ってくれた。以前には赤飯を炊いてくれたこともある。楽しめることがあるため、ぜひそういうことも諏訪区で行うことができればよいと思う。

まずは地域住民に参加してもらい、改めて二貫寺の森のよさを知っていただいて、PRができればと思っている。

【山田副会長】

自分も発言する。

地域住民や子どもたちに広めていくことは大変に重要だと思う。

先ほども意見があったが、やはり二貫寺の森を知らない人たちの底上げというか、知っている人たちに PR することは当然なのだが、知らない人たちに対して二貫寺の森のことをどのように伝えていくのかということが、1 番重要だと思う。

その中で、資料 2 の「1 アンケート調査」が、お知らせできるツールの 1 つだと思う。

例えば、アンケートについても、回覧を回す方法と、学校は学校で出す方法と、やり方を分けることができれば、いろいろな意見が出てくるように思う。

ただ、その意見に全部対応できるかはまた別の話であるが、その思いを今度は町内会長等、関係団体の人たちに伝えると、より一層、二貫寺の森の活用が深まってくるのではないかと感じた。

以上で本日出席の委員全員の発表が終了した。

まとめに入りたいと思うのだが、資料 2 に記載されている実施項目の中では、「1 アンケート調査」「2 研修（座学）」「3 研修（視察）」「4 関係者協議」のほか、「環境整備」等について、意見があった。

できることであれば、資料に記載されている実施項目をすべて行うことができれば本当はよいのだが、地域協議会の任期が残り 1 年と短い期間の中で、あれもこれもと手を付けると全てが中途半端になってしまう可能性もある。

まずは、どれか 1 つに狙いを定め、できそうなところまできたら次にいくような感じがよいと思う。

事務局に確認である。

もしも、アンケート調査を行う場合、3 月で実際に間に合うものなのか。

【藤井係長】

実際に回答してもらうタイミングを、単純に今から準備を始めてどの時期にできるのかということであれば、3 月末で何とかできるかどうかというところである。

大事なことは、各町内会長を始め協力を取り付けることだと思う。

【山田副会長】

もしもアンケートを実施する場合、各町内会長に先に話をするべきなのか。

【川上会長】

話をしなくても大丈夫だと思う。

【山田副会長】

それであれば、話は早いと思う。町内会長に一言入れるのであれば、多分、ずれると思う。

【藤井係長】

アンケート用の予算がないため、配布や回収といったところは町内会長に頼らざるを得ないというのが現実的に課題である。

アンケート調査の実施を地域協議会で決めたのであれば、諏訪区内の各町内会長と話をさせていただき、協力いただけるか打診したいと思う。

【山田副会長】

それは返信用封筒の問題ということか。

【藤井係長】

返信用の場合も予算がかかってしまう。

【山田副会長】

そういった部分を省くために、町内会長にお願いするということか。

【藤井係長】

そうである。

【山岸 愛委員】

過去に全戸配布でアンケートを行った際は、返信用封筒を各戸に入れたのか。

【川上会長】

全く覚えていない。

【山岸 愛委員】

自分も全く覚えていない。

アンケートを実施するにあたり、どのような手段を踏むのかが分からない。

【藤井係長】

よければ、どのようなかたちでアンケートを行うのかについては、次回の議題にしたい。

【山岸 愛委員】

基本は、町内会長にお願いして全戸配布するのか。

【川上会長】

全戸配布した後で、回収してもらわなければならない。

【山岸 愛委員】

あとは、学校や保育園、その他はすこやかサロンに来ている人に、重複したとしても渡すことはできると思う。渡すこと自体は可能だと思うが、回収が問題だと思う。

【川上会長】

他の町内会のことは分からないが、米岡の場合は班長が回収し、町内会長に持って行っている。やはり町内会長が最終的には集めることになってしまう。

【山岸 愛委員】

申し訳ないのだが、町内会長が集めてくれるということで、手間にはなってしまう。

【服部委員】

できないことはないと思う。そのために班長に動いてもらえばよいと思う。

ただ前もって、各町内会の寄り合いでそういった話をしておいたほうがよいと思う。

【山岸 愛委員】

そのほうがスムーズだと思う。

【服部委員】

確認だが、その予算はどこから出るのか。

【藤井係長】

今は予算がないため、事務的な紙代等は負担できると思うが、郵送料は難しい。

【川上会長】

郵送ではなく、回覧をしてもらって人の手で回収するかたちがよいと思う。

【山岸 愛委員】

郵送の予算がなくても、人間が集めることはできる。紙代程度であれば、事務費や運営費として出せるという認識でよいか。

【川上会長】

そういった方向で、やはり町内会長からも協力いただかなければならない。

【服部委員】

諏訪の里づくり協議会があるため、そこに頼んではどうか。

【川上会長】

実際、諏訪の里づくり協議会の実態は町内会長会である。やはり町内会長に協力いただくことが第一だと思う。

【山田副会長】

来月、どういう流れでやればよいのか、たたき台等でもよいのだが、それを協議できればと思う。

【伊藤主事】

書類だと返信用封筒や回覧が必要で面倒になってしまうが、例えば、若い人に回答いただくというのであれば、市のホームページにアンケート機能があるため、依頼さえ送れば、あとはアンケート調査の二次元コードを読み込んで回答いただき、自動的に市に回答が来て集計できる。若い人や、範囲をより広げて取り組むのであれば、文書で依頼を出すだけで実施できると思う。

【川上会長】

そうすれば全市を対象に実施することもできる。

それはまた次の段階でよいと思う。

【山岸 愛委員】

アンケートに回答するのはフォームのほうが絶対に早く楽だが、それはそれができる世代の人に限られ、それができる世代に人に伝える術があるか。諏訪の人に、アンケートフォームで回答することができるよと回覧で周知したとして、回覧を読む人がその方法に対応できるかということ、現実的ではないと思う。

学校を通して保護者に回答してもらうのであれば、フォームでもよい。そうすると紙の回収ということになる。

できるだけいろんな世代の人にということであれば、紙とフォームを併用して少しでも多くの人が回答してくれたらよい。

【小林センター長】

アンケートの実施方法については、予算の関係もあり、決まってきた。

津有区でも来月に向けて調査を実施する予定である。

実施方法は 2 種類あって、一つは町内会長にお願いして配布と回収をしていた

だくもの。手間がかかるが回収率が高い。町内会にお願いするのはオーソドックスなかたちである。

もう一つは、ウェブサービスを使って、できる方はフォームを使って回答してください。それなら回収の必要はないということで進める。

どこの地域協議会でも、だいたい町内会に依頼し、たよりに二次元コードを付して、できる方は二次元コードで回答してくださいと言っている。

ただし、若い人からの回答率を上げたほうがよりよい、ばらつきのよいアンケートとなるため、なるべく若い方から回答いただきたいという働きかけが必要。

なお、アンケートを取れば何か分かるかということ、取ってみても答えは何かということと立ち止まることがよくある。アンケートをするのであれば、何を導き出したいのか事前に考え、仮説を立て、結果を予想したうえで実施することををお勧めする。

【山田副会長】

津有区の場合は、アンケートを実施するまでにどのくらいの期間を要したか。

【小林センター長】

津有区の場合は、2月末の実施に向け、11月に町内会長に依頼した。そう考えると、だいたい4ヶ月くらいかかっている。町内会長の交代時期や正月を挟んで期間を要したというところもある。

これから年に1回の総会など、町内会長が参加されるところで説明できれば、納得を得られやすいと思う。

【川上会長】

1軒に複数人住んでいる場合は、対象者をどのようにするか。

【小林センター長】

いろいろあるが、津有区の場合は、世帯で1回答えていただく。それは紙でもウェブでもよい。また、例えばその世帯の家族が、別にウェブで回答することも可能とした。多くの方に回答いただきたいため、できる方からの回答を受けるととしている。

中郷区は15歳以上の全区民に依頼した。インターネットも併用している。

【川上会長】

方法はいろいろあるが、4月には新しい町内会長協議会の会合があると思うため、それに間に合うように進めたいと考える。そのように進めることとしてよいか。

一番は、地域住民が二貫寺の森に対してどういう思いがあるかということだと思う。

【山岸 愛委員】

二貫寺の森を知っている人の割合が少ないのではないかと考えており、「何がしたい」などはあまり出てこないのではないかと思っている。認知度が知りたい。

【川上会長】

まずアンケート調査を実施することとしてよいか。

【堀川委員】

アンケートに多くの人に協力してもらうには、町内会長の協力が不可欠だと感じている。それを踏まえて進めてほしい。

【川上会長】

町内会長の了承を得て進めていきたいと思う。

以上で次第 2 議題「(1) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」の「(2) 今後の審議について」を終了する。

―農林水産整備課 退室―

次に次第 2 議題「(2) 協議事項」の「地域活性化の方向性について」、事務局より説明を求める。

【藤井係長】

・資料 3、4 に基づき説明

【川上会長】

今ほどの説明について質疑を求める。

(発言なし)

皆さんの意見をまとめてもらっているが、資料のとおりでよいか。

【山岸 愛委員】

6 項目にまとめ、最終的に全体テーマにもっていくのは分かる。整理した文言もよくまとめていただいている。

ここでは、上から、この項目は入れましょう、この項目はやめましょう、とい

う話をすればよいのか。何を意見したらよいか。

【藤井係長】

仕分けさせていただいた分野・方向性について、不足や不要なものがないか、仕分け方に問題がないかといった意見をいただきたい。

また、整理の仕方についてもご意見があればいただきたい。

今、例として1つ目の項目に案文を記載しているが、他の項目も事務局で案文を作って見ていただくことはできる。逆に、ご自身で考えたいということであれば、一つずつ作っていただくこともできる。

【山岸 愛委員】

分野として過不足がないかということか。

【川上会長】

そうである。

【山岸 愛委員】

今これを考えるのはハードルが高い。

資料を見た中ではどの意見も大事だと思う。市の方で区分してもらって見た感じでは、諏訪の方向性としては正しいと思う。

【川上会長】

これを会議で一つずつ考えていくのは難しいと思う。

皆さんの意見と違う部分があれば発言していただき、事務局で構成してもらえないと思う。そのようなかたちで進めることとしてよいか。

他の区の例では似た表現が多い。他にないようなテーマとできれば、諏訪らしくてよいと思う。

【川上 奈津子委員】

前回の会議で他区の内容を見たが、例えば「芳澤 謙吉」のように固有名詞を使用して差し支えないか。

【山岸 愛委員】

例えば、「前島 密」、「川上 善兵衛」という場合もある。

【川上 奈津子委員】

入れてもよければ、入っていたほうがインパクトがある。

【川上会長】

その辺も含めて、事務局にお願いしたい。それでよいか。

(「よし」の声。)

本日の意見については、一度整理して、次回の会議でまとめたものを審議していただければと思う。28区で作成するので、他にないような諏訪区の方角性を作ればと思う。

以上で次第2議題「(2) 協議事項」の「地域活性化の方角性について」を終了する。

次に次第2議題「(3) その他」に入る。本日の議題に関して、何かあるか。

(発言なし)

以上で次第2議題「(3) その他」を終了する。

最後に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・次回の協議会について説明

【川上会長】

ー 日程調整 ー

- ・次回の協議会：2月22日（水）午後7時から 諏訪地区公民館 集会室
- ・内容：地域活性化の方角性について

自主的審議について

最後に、全体を通して何かあるか。

(発言なし)

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mailchubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。